



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 アイティフォー

上場取引所 東

コード番号 4743 URL <https://www.itfor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 恒徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中山 かつお

TEL 03-5275-7841

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 2,729 | 39.4 | 192 | 95.0 | 228 | 70.0 | 163 | 76.3 |
| 2019年3月期第1四半期 | 1,958 | 2.8 | 98 | 106.1 | 134 | 71.9 | 92 | 75.3 |

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 76百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 45百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第1四半期 | 5.95 | 5.94 |
| 2019年3月期第1四半期 | 3.35 | 3.34 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第1四半期 | 15,145 | 11,901 | 78.3 | 432.17 |
| 2019年3月期 | 15,878 | 12,367 | 77.7 | 449.42 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 11,863百万円 2019年3月期 12,331百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 0.00 | | 20.00 | 20.00 |
| 2020年3月期 | | | | | |
| 2020年3月期(予想) | | 0.00 | | | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、従来より、連結配当性向30%以上を目標に、期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。今後ともこの配当方針に基づく配当を実施してまいりますので、期末配当金および年間配当金の記載を「-」と表記しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 5,300 | 12.8 | 530 | 29.6 | 550 | 22.2 | 370 | 22.5 | 13.48 |
| 通期 | 13,200 | 5.1 | 1,900 | 16.1 | 1,950 | 14.1 | 1,330 | 15.9 | 48.45 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ¹3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2020年3月期1Q | 29,430,000 株 | 2019年3月期 | 29,430,000 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2020年3月期1Q | 1,992,059 株 | 2019年3月期 | 1,992,003 株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2020年3月期1Q | 27,437,969 株 | 2019年3月期1Q | 27,607,184 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ¹1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速などによる輸出や生産の弱さが続いているものの、高水準の企業収益を背景に設備投資が堅調に推移しており、個人消費も10連休特需による押し上げ効果が見られるなど緩やかな回復傾向にあります。

当社グループの属する情報サービス産業におきましては、大企業を中心にAIやRPAなどの先端デジタル技術への投資が顕在化してきており、今後ますます関連ソフトウェアへの投資は加速するものと見込まれております。

このような環境下、当社グループでは、2018年5月18日に発表した中期経営計画「Challenge to 2020」として数値目標である2021年3月期売上高140億円、営業利益23億円、ROE10%以上の達成へ向けて事業を推進しております。同計画では、「強い事業領域での競争力維持」、「戦略商品の販売拡大」、「新しい市場の開拓」、「新技術の獲得・展開」を基本方針に掲げ、その諸施策を着実に進めると共にグループ企業群の充実を図っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,729百万円（前年同期比139.4%）、営業利益は192百万円（前年同期比195.0%）、経常利益は228百万円（前年同期比170.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163百万円（前年同期比176.3%）となりました。

なお、当社グループでは、顧客への出荷や納期が9月および3月に集中する傾向があります。

当第1四半期連結累計期間の受注高は、3,243百万円（前年同期比105.1%）、受注残は12,647百万円（前年同期比133.0%）となりました。また、セグメント別の営業概況は次のとおりです。

(システムソリューション)

システムソリューションでは、フィナンシャルシステムにおける個人ローン業務支援システム「SCOPE」ならびに個人信用情報照会システム「MICS」の販売が好調であり、地銀系保証会社システム向けの保証・求償管理システムについてもバージョンアップを実施し更なる受注を獲得しております。債権管理システムでは、ノンバンク向け「TCS-Web」や金融機関向け「CMS V5」に「e-SMS」や自動受架電システム「ロボティックコール」を組合せた業務効率化ならびに人員の有効活用を目指した受注を獲得しております。コールセンター向けシステムにつきましては、録音システムで大手顧客の更改が継続しているほか、RPAは小規模ながら複数の新規顧客を獲得いたしました。小売業向けでは消費税率改正・軽減税率対応の開発を着実に進めるほか、戦略商品であるiRITSpayの拡販に努めております。地方百貨店の基幹システムを受注したほか、前期に受注したECサイト構築システムが稼働を開始しております。公共向けでは滞納管理システムおよび学務支援システムでそれぞれ新規顧客を獲得いたしました。

その結果、受注高は1,819百万円（前年同期比112.0%）、売上高は1,549百万円（前年同期比141.5%）、セグメント利益は327百万円（前年同期比140.2%）となりました。

(サービスソリューション)

サービスソリューションでは、安定収益源である保守サービスや公共分野向けBPOビジネスを中心に活動しております。政令市、中核市からの受注を獲得し、東京23区内の3団体ほか中規模自治体の業務を開始いたしました。

その結果、受注高は880百万円（前年同期比114.8%）、売上高は774百万円（前年同期比123.2%）、セグメント利益は133百万円（前年同期比144.0%）となりました。

(基盤ソリューション)

基盤ソリューションでは、システム機器販売、クラウドを含む基盤インフラ設計・構築・納入・設置、ネットワークシステムの提供を行っております。キャリア向け大手顧客からの更改案件を受注したほか、前期受注のシステム機器の納入が進みました。

その結果、受注高は543百万円（前年同期比78.2%）、売上高は405百万円（前年同期比172.8%）、セグメント利益は84百万円（前年同期比198.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は15,145百万円となり、前連結会計年度末に比べて732百万円減少いたしました。流動資産は11,380百万円となり、919百万円減少いたしました。主な原因は、有価証券が599百万円、たな卸資産が325百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,886百万円減少したことなどです。固定資産は3,765百万円となり、186百万円増加いたしました。主な原因は、のれんが108百万円増加したことなどです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は3,244百万円となり、前連結会計年度末に比べて266百万円減少いたしました。流動負債は2,977百万円となり、266百万円減少いたしました。主な原因は、前受金が277百万円、その他が247百万円増加しましたが、買掛金が392百万円、未払法人税等が213百万円、賞与引当金が185百万円減少したことなどです。固定負債は266百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は11,901百万円となり、前連結会計年度末に比べて465百万円減少いたしました。主な原因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により163百万円増加しましたが、剰余金の配当の支払により549百万円減少したことなどです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.7%から78.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での業績予想につきましては、2019年5月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,728,388 | 2,698,711 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,346,305 | 1,459,395 |
| 有価証券 | 5,499,928 | 6,099,863 |
| たな卸資産 | 598,087 | 923,364 |
| その他 | 127,323 | 198,765 |
| 貸倒引当金 | △152 | △81 |
| 流動資産合計 | 12,299,880 | 11,380,019 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 566,844 | 598,136 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 156,188 | 264,602 |
| その他 | 299,963 | 362,794 |
| 無形固定資産合計 | 456,151 | 627,396 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,849,820 | 1,791,532 |
| 繰延税金資産 | 124,870 | 165,526 |
| その他 | 580,479 | 582,462 |
| 投資その他の資産合計 | 2,555,171 | 2,539,521 |
| 固定資産合計 | 3,578,167 | 3,765,054 |
| 資産合計 | 15,878,048 | 15,145,073 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,437,103 | 1,044,827 |
| 未払法人税等 | 311,906 | 98,028 |
| 賞与引当金 | 424,453 | 239,431 |
| 前受金 | 547,120 | 824,312 |
| その他 | 523,864 | 771,354 |
| 流動負債合計 | 3,244,448 | 2,977,953 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 24,586 | 25,511 |
| 退職給付に係る負債 | 206,181 | 204,759 |
| 長期未払金 | 35,786 | 35,786 |
| 固定負債合計 | 266,553 | 266,056 |
| 負債合計 | 3,511,002 | 3,244,010 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,124,669 | 1,124,669 |
| 資本剰余金 | 1,337,635 | 1,337,635 |
| 利益剰余金 | 10,714,995 | 10,331,780 |
| 自己株式 | △1,319,528 | △1,319,571 |
| 株主資本合計 | 11,857,771 | 11,474,513 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 479,885 | 395,357 |
| 繰延ヘッジ損益 | 108 | △139 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △6,464 | △6,339 |
| その他の包括利益累計額合計 | 473,528 | 388,878 |
| 新株予約権 | 24,093 | 27,577 |
| 非支配株主持分 | 11,652 | 10,093 |
| 純資産合計 | 12,367,045 | 11,901,062 |
| 負債純資産合計 | 15,878,048 | 15,145,073 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日) |
|---------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 1,958,280 | 2,729,728 |
| 売上原価 | 1,158,529 | 1,737,429 |
| 売上総利益 | 799,750 | 992,298 |
| 販売費及び一般管理費 | 701,102 | 799,971 |
| 営業利益 | 98,648 | 192,327 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 912 | 1,067 |
| 受取配当金 | 27,319 | 27,807 |
| 持分法による投資利益 | 3,180 | 2,513 |
| その他 | 6,803 | 7,001 |
| 営業外収益合計 | 38,216 | 38,389 |
| 営業外費用 | | |
| 支払手数料 | 873 | 1,281 |
| 固定資産除却損 | - | 654 |
| その他 | 1,402 | 36 |
| 営業外費用合計 | 2,275 | 1,972 |
| 経常利益 | 134,589 | 228,745 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 134,589 | 228,745 |
| 法人税等 | 41,065 | 67,144 |
| 四半期純利益 | 93,523 | 161,600 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 952 | △1,558 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 92,570 | 163,158 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 93,523 | 161,600 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △139,978 | △84,498 |
| 繰延ヘッジ損益 | 784 | △247 |
| 退職給付に係る調整額 | 437 | 124 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △45 | △29 |
| その他の包括利益合計 | △138,802 | △84,650 |
| 四半期包括利益 | △45,279 | 76,949 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △46,232 | 78,508 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 952 | △1,558 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「システムソリューション」、「サービスソリューション」、「基盤ソリューション」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの内容は以下の通りであります。

| セグメント名称 | 内容 |
|-------------|--------------------------------------------------------|
| システムソリューション | パッケージソフトウェアに関する設計・開発から導入・保守までの一貫したサービスの提供 |
| サービスソリューション | カスタマーサービス、電話・訪問催告や窓口支援を行うBPOサービスの提供 |
| 基盤ソリューション | システム機器販売、クラウドを含む基盤インフラ設計・構築・納入・設置、ネットワークシステムソリューションの提供 |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結結果計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2 |
|-----------------------|---------------------|---------------------|-------------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | システム ソリュー ション | サービス ソリュー ション | 基盤 ソリュー ション | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,094,766 | 628,569 | 234,944 | 1,958,280 | — | 1,958,280 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3,172 | — | 510 | 3,682 | △3,682 | — |
| 計 | 1,097,938 | 628,569 | 235,454 | 1,961,962 | △3,682 | 1,958,280 |
| セグメント利益 | 233,941 | 92,947 | 42,493 | 369,382 | △270,734 | 98,648 |

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△270,734千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結結果計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2 |
|-----------------------|---------------------|---------------------|-------------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | システム ソリュー ション | サービス ソリュー ション | 基盤 ソリュー ション | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,549,341 | 774,663 | 405,723 | 2,729,728 | — | 2,729,728 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4,614 | — | 656 | 5,271 | △5,271 | — |
| 計 | 1,553,955 | 774,663 | 406,379 | 2,734,999 | △5,271 | 2,729,728 |
| セグメント利益 | 327,941 | 133,838 | 84,239 | 546,020 | △353,692 | 192,327 |

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△353,692千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「システムソリューション」において、当第1四半期連結会計期間に株式会社イーブ株式を取得しております。
なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては121,949千円であります。